

## 【 学 部 編 】

<b>I</b>	<b>ポリシー</b>	
1	ディプロマ・ポリシー	学部 1
2	カリキュラム・ポリシー	学部 2
<b>II</b>	<b>卒業要件単位数（詳細）</b>	
1	卒業要件単位数（詳細）	学部 4
<b>III</b>	<b>学科独自の制度</b>	
1	試験制度について	学部 5
2	進級制限制度について	学部 7
3	臨地実習について	学部 7
4	ナーシング・セレモニーについて	学部 8
<b>IV</b>	<b>科目分類番号</b>	
1	科目分類番号について	学部 9
<b>V</b>	<b>共通教育科目等の課程表</b>	
1	共通教育科目等 課程表	学部 10
<b>VI</b>	<b>専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表</b>	
1	カリキュラム・ツリー	学部 20
2	看護学科 課程表	学部 22
<b>VII</b>	<b>各種資格</b>	
1	看護職の資格とその役割について	学部 25
2	看護師について	学部 25
3	保健師について	学部 26
4	第一種 衛生管理者について	学部 27
5	養護教諭 二種について	学部 27

# 1 ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーとは金城学院大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学修成果の目標となるものです。

## 〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

### 1. 知識・理解

(1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

### 2. 汎用的技能

(2) 情報を適正に収集・分析し、色々な角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。

(3) 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

### 3. 態度・志向性

(4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。

(5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

### 4. 統合的な学修経験と創造的思考力

(6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

## 〔2〕看護学部看護学科

看護学部看護学科では、所定の126単位を取得し、以下に定める能力を有すると認められた者に、学士(看護学)の学位を授与します。

1. 人間に対する畏敬の念と高い倫理観をもち、他者をいたわり思いやる豊かな人間性を有している。
2. 地域で生活する多様な人々の生活や文化的・社会的背景を理解し、それぞれの価値観を尊重しながら支援に当たることができる。
3. 健康上の課題に対し自ら幅広く多様な情報を収集、分析することによって、必要な看護を判断し、課題解決に向けて対応することができる。
4. 看護の専門的知識・技術・態度を身につけ、科学的根拠に基づいた、安全・安楽な看護を実践することができる。
5. 多職種と連携し、保健・医療・福祉チームの中で責任をもって役割を果たすことができる。
6. 看護の質向上に寄与するため、科学的探究心をもち、自律的・継続的に研鑽を重ねることができる。

## 2 カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーとはディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

### 〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験、実習および実技を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

#### 1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育及び外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、学科の専門性を踏まえた種々の表現方法のスキル向上、多角的に考える力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が専門分野の知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。専門分野の体系性に基づき、適切な内容の授業を編成します。
- (4) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究等を実施します。

#### 2. 教育方法

- (5) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (6) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (7) 実験・実習および実技科目においては、知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (8) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (9) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

#### 3. 評価

- (10) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、大学レベル、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。

- (11) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準及び具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

## 〔2〕看護学部看護学科

看護学部看護学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、「共通教育科目」と「専門教育科目」を、順序性を考慮し体系的に配置し、講義、演習、臨地実習を組み合わせたカリキュラムを編成します。カリキュラムの順序性・体系性をカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーで示し、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用します。

教育内容、教育方法、評価については次のように定めます。

### 1. 教育内容

- (1) 「共通教育科目」は、人間に対する畏敬の念と高い倫理性、豊かな人間性を養うため、福音主義キリスト教に基づく「金城アイデンティティ科目」、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養および多様な価値観を養う「金城展開科目」の3科目群を配置します。
- (2) 「専門教育科目」は、「導入科目」、「看護英語コミュニケーション科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」、「保健師課程科目」に区分します。
- (3) 「導入科目」は、大学での学びに円滑に移行し、大学生として必要な学修スキルを身につけるための科目と看護学を学ぶうえで豊かな人間性や高い倫理観を養うための科目を配置します。
- (4) 「看護英語コミュニケーション科目」は、「共通教育科目」を基盤とし、看護場面における英語でのコミュニケーションスキルを身につけるために、医療現場での看護実践を想定した授業による科目として配置します。

- (5) 「専門基礎科目」は、科学的根拠に基づいた看護実践の基礎となる知識を身に付けるため、「人間の身体のしくみと働き」、「健康障害と治療論」、「社会保障制度と社会環境」の3科目群を配置します。
- (6) 「専門科目」は、科学的根拠に基づく安全・安楽な看護実践に必要な専門知識・技術・態度を身に付けるため、「看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群」、「健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群」、「看護の統合と探究」の3科目群を配置します。

「看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群」の中に、「基礎看護学」、「地域・在宅看護学」、「グローバルヘルス看護学」の3領域を置き、看護学の基礎となる理論・専門知識と看護技術の修得、および国内外の保健医療福祉の現状を学修することで多様な社会資源、サービス、制度について理解し、多様な人々・地域を対象に看護実践ができる知識・技術を学修する科目を配置します。

「健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群」の中に、「成人看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「高齢者看護学」、「精神看護学」の5領域を置き、あらゆる成長発達段階と健康状態にある人々を対象に看護実践ができる知識・技術を学修する科目を配置します。

「看護の統合と探究」の中に、多職種との連携・協働について学修する科目、看護の質向上のための自己研鑽・探究心を養う科目を配置します。

- (7) 「保健師課程」は選択制とし、2年次以降に「保健師課程科目」として「公衆衛生看護学」の科目群を配置します。

### 2. 教育方法

- (8) 主に知識の修得、理解を目的とした科目は、講義により実施します。
- (9) 主に修得した知識を模擬的・総合的に体験し技術を身につけることを目的とした科目は、演習により実施します。
- (10) 主に知識や技術を実務に応用するための能力を身に付けることを目的とした科目は、臨地実習により実施します。
- (11) アクティブ・ラーニングやICTシステムを導入し、学生が能動的に学べる教育方法を実践します。
- (12) 履修者数の上限を設定し、必要に応じて少人数グループで授業を実施します。

### 3. 評価

- (13) 学修成果の評価については、公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的基準をシラバスに定め、筆記試験・実技試験・レポート・実習評価・授業貢献度等から多面的・総合的に評価を行います。

# 1 卒業要件単位数（詳細）

科目名の★は必修

看護学科			卒業要件			
			126 (単位)			
共通教育科目			18			
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	★	2	14	
		キリスト教学(2)	★	2		
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	★	1		
		英語コミュニケーションA(2)	★	1		
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	★	2		
		女性みらい	★	1		
	⑦教養科目	統計科学	★	2		
	⑧情報教育科目	情報リテラシー	★	2		
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	★	1		
選択必修A	③国際理解	多文化共生社会もしくは異文化コミュニケーション		2	3	
	⑨S&E教育科目から1科目選択 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)			1		
選択必修B	①キリスト教 (キリスト教学(1)、(2)を除く)				1	1
	②女性					
	③国際理解 (選択必修Aでの履修科目を除く)					
	④英語教育科目 (英語コミュニケーションA(1)~D(2)を除く)					
	⑤外国語教育科目					
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、B、G(1)、(2)、女性みらいを除く)					
	⑦教養科目 (統計科学、大学での学びを除く)					
	⑧情報教育科目 (情報リテラシーを除く)					
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズH				
	⑩海外研修科目					
専門教育科目			108			
導入科目		必修		2	2	
看護英語コミュニケーション科目		必修		2	2	
専門基礎科目		必修		26	26	
専門科目	①基礎看護学	必修		17	75	
	②地域・在宅看護学	必修		9		
	③グローバルヘルス看護学	必修		3		
	④成人看護学	必修		13		
	⑤小児看護学	必修		6		
	⑥母性看護学	必修		6		
	⑦高齢者看護学	必修		7		
	⑧精神看護学	必修		6		
	⑨看護の統合と探究	必修		8		
公衆衛生看護学分野を除く全ての専門教育科目の選択科目から選択必修				3	3	
自由履修			-			

# 1 試験制度について

看護学科では、**大学編 ① 8 試験について**に記載されている試験に加えて以下の試験を実施します。各試験の日程の詳細については、履修要覧別冊の教務関係事項スケジュール表で確認してください。

## 〔1〕再試験

- (1) 専門教育科目（実習科目を除く）の評価が「F」であった場合、各期再試験を実施します。また、追試験においても同様に再試験を実施します。
- (2) 評価が「F」の学生は、全員再試験受験対象者となり、再試験を受験しなければなりません。ただし、期日までに再試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができ、再試験料の支払いが免除されます。
- (3) 再試験受験を辞退した者が後に当該科目の単位を修得しようとする場合は、同科目を再履修しなければなりません。
- (4) 再試験対象者および再試験時間割は、K-PORTで発表します。
- (5) 再試験料は1科目につき3,000円です。原則、学納金口座から引き落としとなります（前期は9月、後期は3月）再試験料は受験しなかった場合も引き落とします。原則、いったん納付した受験料は返還することができません。

## 〔2〕再試験の追試験

- (1) 再試験を次の理由により受験できなかった場合、所定の期日までに履修支援センターに必要な証明書を提出し手続きをすることにより、再試験の追試験を受験することができます。
  - ア) **大学編 ① 8 試験について**〔1〕③追試験 ㉔～㉖の理由で欠席した場合
  - イ) その他、看護学部長が認めた場合

## 〔3〕再々試験

- (1) 再試験の評価が「F」の場合は、原則として、その科目は次年度再履修となります。ただし、次年度の再履修が時間割等の都合で不可能な場合、必修の専門教育科目に限り、次年度に、再試験に対する再試験（以下、再々試験）の受験が認められます。再々試験の対象者の発表等の詳細はK-PORTで行い、履修登録は履修支援センターで行います。
- (2) 再々試験の受験料は1科目につき3,000円です。原則、学納金口座から引き落としとなります（前期は9月、後期は3月）。ただし、期日までに再々試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができ、再々試験料の支払いが免除されます。

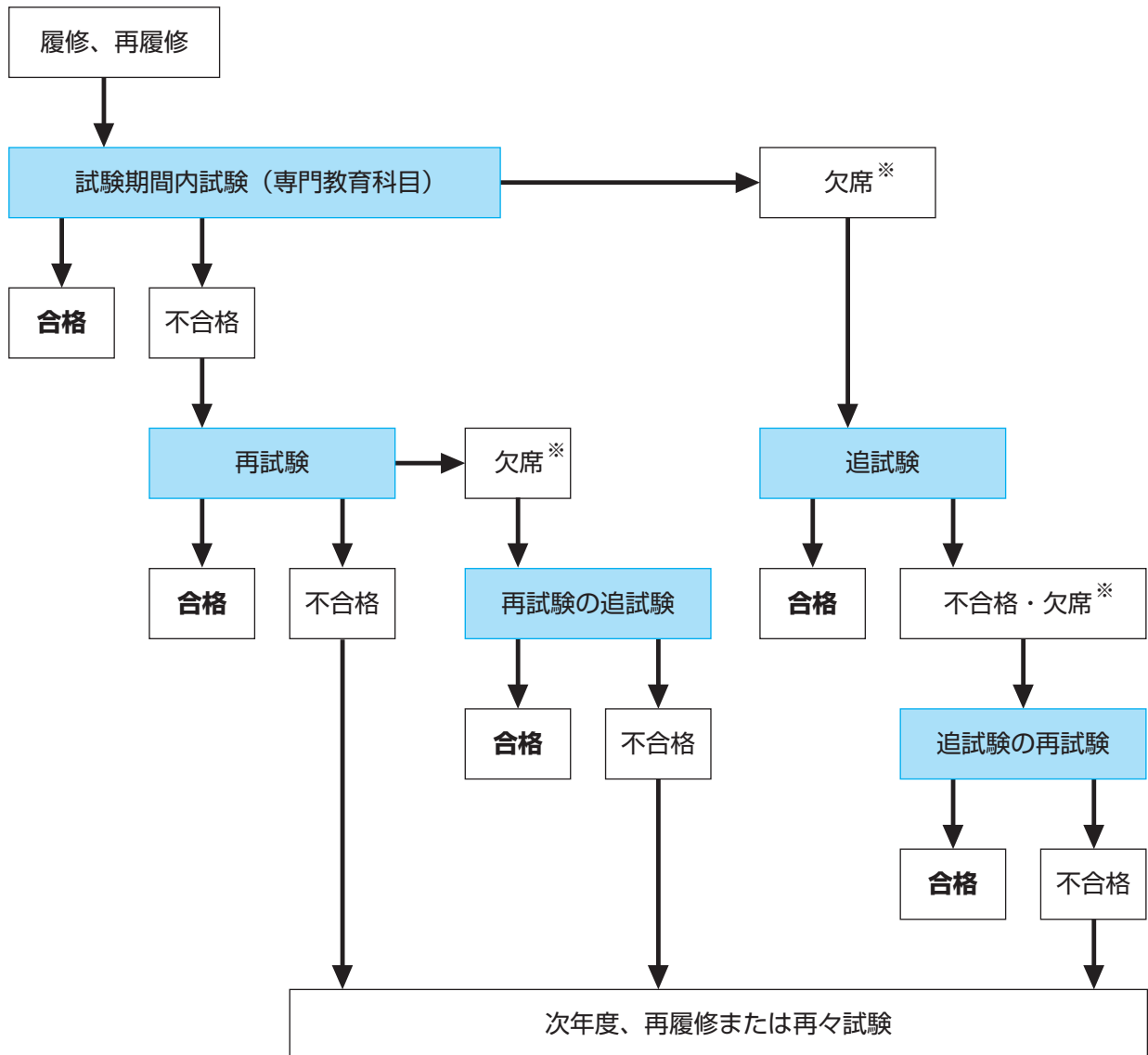
## 〔4〕期間外再々試験

期間外再々試験とは、再試験期間より前に実施する試験です。  
期間外再々試験の実施科目等は K-PORT で発表します。期間外再々試験料は 1 科目につき 3,000 円です。  
原則、学納金口座から引き落としとなります。  
ただし、期日までに期間外再々試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができ、再々試験料の支払いが免除されます。

## 〔5〕卒業再試験

卒業年度に限り、各期再試験の評価が「F」であった科目は、卒業再試験の対象となります。受験の手続きがありますので注意してください。卒業再試験については、**大学編 ① 8 試験について**を参照してください。

<試験フローチャート>



※欠席は大学で定めた理由によること。

**受験料**

受験料1科目につき3,000円が必要です。  
学納金口座から引き落としとなります。（前期は9月、後期は3月）

## 2 進級制限制度について

- (1) 次の学年において、以下に定めた要件に該当する場合は進級できません。
- ① **2年次から3年次への進級時：**  
2年次終了までに修得すべき専門教育科目の必修科目に未修得の科目がある者
  - ② **3年次から4年次への進級時：**  
3年次終了までに修得すべき専門教育科目の必修科目に未修得の科目がある者
- (2) 進級制限を受け同じ学年に留まる者の在学料は、2年次から各学年次終了までに修得すべき必修科目の不足単位数が9単位以内の場合、授業料の半額相当額とし、10単位以上の場合、授業料及びその他の所定の学納金と同額となります。

## 3 臨地実習について

- (1) 臨地実習は、学内での講義や演習で学んだ専門知識や技術を臨床の場で実践し、知識と実践を統合させることを目的に学外の看護関連施設で、1年次から4年次の間に次のように系統立てて行われます。

学年	前期		後期		
	科目名	期間	科目名	期間	
1年次	基礎看護学実習(1)	1週間	地域療養体験実習	1週間	
2年次			基礎看護学実習(2)	2週間	
3年次			専門領域別看護学実習	地域・在宅看護学実習	2週間
				成人看護学実習	
				慢性期看護学実習	3週間
				急性期看護学実習	3週間
				小児看護学実習	2週間
				母性看護学実習	2週間
				高齢者看護学実習	3週間
			精神看護学実習	2週間	
4年次	統合実習	2週間			



(2) 実習科目を履修するためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ① 基礎看護学実習(1)  
「看護学概論」の失格者でないこと。
- ② 地域療養体験実習  
「地域包括ケア論」及び「地域・在宅看護学概論」の失格者でないこと。
- ③ 基礎看護学実習(2)  
1年から2年前期までの専門基礎科目及び専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること。  
また2年後期の専門基礎科目及び専門科目の失格者でないこと。
- ④ 専門領域別看護学実習  
1年から3年前期までの専門基礎科目及び専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること。
- ⑤ 統合実習  
1年から3年後期までの専門基礎科目及び専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること。

## 4 ナーシング・セレモニーについて

ナーシング・セレモニーは、はじめて患者を受け持つ実習となる「基礎看護学実習(2)」に臨む学生を対象に、2年次後期に行います。宗教主事が聖書を読み、祈りを捧げることで厳粛かつ整然と行われます。セレモニーでは、患者の命と向き合う医療従事者としての倫理・道徳意識を高めるとともに、看護を学修し、探究しつづけることへの誓い（宣誓）を行います。



# 1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
I 金城アイデンティティ科目	①キリスト教	キリスト教 学 (1) ★	建学の精神であるキリスト教と聖書の世界について学ぶ	101	2		
		キリスト教 学 (2) ★		101	2		
		キリスト教 学 (3) ■	『聖書』とその領域について学ぶ	102		2	
		キリスト教 学 (4) ■	キリスト教の歴史とその領域について学ぶ	102		2	
		聖書の読み方 ■	『聖書』の執筆者、書かれた目的、内容を学ぶ	101	2		
		現代世界とキリスト教 ■	世界各地域のキリスト教事情を学ぶ	101	2		
		医療とキリスト教精神 ■	医療従事者から医療とキリスト教の精神の関係を学ぶ	101	2		
		福祉とキリスト教 ■	福祉の各分野とキリスト教の関わりについて学ぶ	101	2		
		キリスト教文化学入門 ■	中世のキリスト教が生み出した祝祭日の歴史を学ぶ	101	2		
		いのち・こころ ■	誕生から死まで、困難をバネに積極的に生きることを考える	101	2		
	②女性	聖書の女性観 ■	『聖書』における女性の描き方を通して女性観を学ぶ	101	2		
		歴史の中の女性 ■	19世紀の英国と米国の歴史に登場する女性について学ぶ	101	2		
		世界の女性問題 ■	国際社会における女性の人権について考える	101	2		
		福祉と女性 ■	女性が抱える社会福祉の問題を通して生き方を考える	101	2		
		女性と文学 ■	文学や映画に登場する女性を新たな視点から考察する	101	2		
		男女共同参画社会 ■	従来からの男女観、国際比較等から日本女性の状況を考える	101	2		
		性差の科学 ■	ジェンダーと人間行動・偏見・コミュニケーションを学ぶ	101	2		
	③国際理解	世界の多様な文化 ■	異なる地域に住む人々の社会や文化、宗教的背景を学ぶ	101	2		
		世界の社会問題 ■	日本を取り巻く国際情勢とその問題について学ぶ	101	2		
		多文化共生社会 ■	多民族・多文化共生社会の実現について考える	101	2		
Topics in Comparative Culture ■		外国と比較した日本文化を基本的な英語で学ぶ	101	2			
Topics in Contemporary Japan ■		英語で学ぶ現代日本の諸問題	101	2			
異文化コミュニケーション ■		異文化間で起こる様々な問題を解決する能力を培う	101	2			

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
				1年	2年	3年	4年	
II 金城コア科目	④ 英語教育科目	英語コミュニケーションA (1) ★	Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションA (2) ★	Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションB (1) 看護学科は履修不可	CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションB (2) 看護学科は履修不可	CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションC (1) 看護学科は履修不可	Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションC (2) 看護学科は履修不可	Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションD (1) 看護学科は履修不可	Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションD (2) 看護学科は履修不可	Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションE (1) ■	Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションE (2) ■	Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションF ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
		英語コミュニケーションG ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
	⑤ 外国語教育科目	ドイツ語 (1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ドイツ語 (2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ドイツ語 (3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ドイツ語 (4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ドイツ語会話 (1) ■	初級1 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ドイツ語会話 (2) ■	初級2 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ドイツ語会話 (3) ■	初級3 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	102		1		
ドイツ語会話 (4) ■		初級4 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	102		1			
フランス語 (1) ■		初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
フランス語 (2) ■		初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
フランス語 (3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1				
フランス語 (4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1				

科目区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅱ 金城コア科目 ⑤外国語教育科目	フランス語会話(1) ■	初級1 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(2) ■	初級2 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(3) ■	初級3 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	フランス語会話(4) ■	初級4 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語(1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語(4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語会話(1) ■	初級1 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(2) ■	初級2 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(3) ■	初級3 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語会話(4) ■	初級4 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語(1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語(4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語会話(1) ■	初級1 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(2) ■	初級2 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(3) ■	初級3 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語会話(4) ■	初級4 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語(1) ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(2) ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(3) ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語(4) ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数				
				1年	2年	3年	4年	
II 金城コア科目	⑤外国語教育科目	韓国・朝鮮語会話(1) ■	初級1 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(2) ■	初級2 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(3) ■	初級3 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
		韓国・朝鮮語会話(4) ■	初級4 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発 A ★	キャリア開発の意義と方法	101	2			
		キャリア開発 B 看護学科は履修不可	マナー&コミュニケーション	101	1			
		キャリア開発 C ■	自分らしい生き方を設計する	102		2		
		キャリア開発 D ■	いきいき働く女性たち	102		2		
		キャリア開発 E ■	企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103			2	
		キャリア開発 F ■	将来の仕事を考える	103			2	
		キャリア開発 G (1) 看護学科は履修不可	インターンシップ準備	102		2		
		キャリア開発 G (2) 看護学科は履修不可	インターンシップ	103			2	
	女性みらい ★	女性の心身の健康	101	1				
	III 金城展開科目	⑦教養科目	文学 A ■	日本文学論	101	2		
			文学 B ■	西洋文学論	101	2		
			文学 C ■	文学とキリスト教	101	2		
史学 A ■			日本史入門	101	2			
史学 B ■			西洋史入門	101	2			
史学 C ■			現代世界の形成	101	2			
哲学 A ■			東洋哲学	101	2			
哲学 B ■			西洋哲学	101	2			
倫理学 A ■			倫理学入門	101	2			
倫理学 B ■			いのちの倫理	101	2			

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目 ⑦教養科目	地 域 研 究 A ■	日本文化論	101	2			
	地 域 研 究 B ■	英語圏の生活と文化	101	2			
	地 域 研 究 C ■	ヨーロッパの生活と文化	101	2			
	地 域 研 究 D ■	アジアの生活と文化	101	2			
	地 理 ■	日本地理	101	2			
	文 化 人 類 学 ■	文化人類学入門	101	2			
	宗 教 学 ■	キリスト教と日本	101	2			
	日 本 語 学 ■	日本語学入門	101	2			
	日 本 語 表 現 ■	実践日本語	101	2			
	ロジカルシンキング ■	ロジカルシンキング入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 A ■	西洋音楽史入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 B ■	西洋音楽鑑賞入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 C ■	音楽とキリスト教	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 D ■	ハンドベル入門	101	1			
	芸 術 ・ 美 術 A ■	日本美術史	101	2			
	芸 術 ・ 美 術 B ■	西洋美術史	101	2			
	芸 術 ・ 美 術 C ■	美術とキリスト教	101	2			
	法 学 ■	法学入門	101	2			
	日 本 国 憲 法 ■	日本国憲法の理解	101	2			
	政 治 学 ■	政治と行政	101	2			
	平 和 学 ■	平和学入門	101	2			
	経 済 学 ■	経済学入門	101	2			
	経 営 学 A ■	経営学入門	101	2			
経 営 学 B ■	マーケティング入門	101	2				

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦ 教養科目	社会学 A ■	社会学入門	101	2		
		社会学 B ■	消費社会論	101	2		
		名古屋学 ■	名古屋の魅力	101	2		
		心理学 A ■	社会心理学	101	2		
		心理学 B ■	発達心理学	101	2		
		心理学 C ■	臨床心理学	101	2		
		生活科学 A ■	生活と科学	101	2		
		生活科学 B ■	健康とサプリメント	101	2		
		生活科学 C ■	化粧品学入門	101	2		
		衣生活学 A ■	生活と衣服	101	2		
		衣生活学 B ■	生活とテキスタイル	101	2		
		食生活学 看護学科は履修不可	食品栄養学	101	2		
		住生活学 ■	生活と住まい	101	2		
		健康科学 ■	健康科学入門	101	2		
		生物学 A ■	生物学入門	101	2		
		生物学 B ■	生命科学入門	101	2		
		環境学 ■	環境学入門	101	2		
		数学 ■	数学入門	101	2		
		統計科学 ★	統計学入門	101	2		
		情報学 ■	情報学入門	101	2		
		薬学 ■	女性のための薬学入門	101	2		
		教職入門 ■	教職の意義と役割	101	2		
学校と教育の歴史 ■	教育の歴史と思想	101	2				
発達と学習 ■	子どもの発達と学習過程	101	2				

大学編

履修要項・  
履修案内

大学編

学籍上の  
諸手続き

大学編

教務事務の  
取扱い

大学編

履修規程

学部編

ポリシー

学部編

卒業要件  
単位数(詳細)

学部編

学科独自の  
制度

学部編

科目分類番号

学部編

共通教育科目  
等の課程表

学部編

専門教育科目の  
カリキュラム(シリー  
および課程表

学部編

教免取得に  
関する  
教育課程表

学部編

各種資格



※「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

※「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位は、選択必修Aには含まれません。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑦ 教養科目	教 育 相 談 ■	学校における心のケア	101	2			
	大 学 で の 学 び ※履修不可	高大接続連携授業	—	1			
⑧ 情報教育科目	情 報 リ テ ラ シ ー ★	コンピュータ力を身につける	101	2			
	I T 活 用 A ■	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2			
	I T 活 用 B ■	動画作成編集	102	2			
	I T 活 用 C ■	プログラミング入門	102	2			
	I T 活 用 D ■	Web ページデザイン	102	2			
	I T 活 用 E ■	コンピュータ統計入門	102	2			
	I T 活 用 F ■	デスクトップ・パブリッシング	102	2			
	I T 活 用 G ■	コンピュータ・デザイン	102	2			
	I T 活 用 H 看護学科は履修不可	コンピュータと薬学	102	2			
⑨ S&E 教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニスとゴルフ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズB ■	バドミントンとライトスポーツ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズC ■	卓球とフィットネスA（ヨガ・太極拳など）	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズD ■	フィットネスB（体カトレーニング・ストレッチなど） と卓球	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズE ■	ゴルフとバドミントン	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズF ■	ライトスポーツとテニス	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズG ■	ライトスポーツ	101		1		
	スポーツ・アンド・エクササイズH ■	ヘルシーエクササイズ	102			1	
	スポーツ・アンド・エクササイズ講義 ★	スポーツと健康	102		1		

Ⅲ 金城展開科目

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑩学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2		
		里山プロジェクト ■	里山から見る日本の姿	103	2		
		KIDSセンタープロジェクト ■	KIDSセンター活動に参加する	103	2		
		ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを实践する	103	2		
		訪問演奏プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2		
	⑪海外研修科目	海外研修 A 看護学科は履修不可	北米	103	2		
		海外研修 B 看護学科は履修不可	イギリス	103	2		
		海外研修 C 看護学科は履修不可	オーストラリア	103	2		
		海外研修 D 看護学科は履修不可	中国	103	2		
		海外研修 E 看護学科は履修不可	その他の地域	103	2		
		海外留学準備講座 ■	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1		
	⑫実践ビジネス英語科目	実践ビジネス英語 A 看護学科は履修不可	TOEIC L&R 550以上を目指す	103	1		
		実践ビジネス英語 B 看護学科は履修不可	TOEIC L&R 600以上を目指す	103	1		
		実践ビジネス英語 C 看護学科は履修不可	TOEIC L&R 650以上を目指す	103		1	
		実践ビジネス英語 D 看護学科は履修不可	TOEIC L&R 700以上を目指す	103			1
		実践ビジネス英語 E 看護学科は履修不可	英語のレポート作成方法を学ぶ	103			1
		海外ビジネス研修 看護学科は履修不可	カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103	1		

## 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（中・高・栄養免許）

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国 語 科 指 導 法 A	102	4			
国 語 科 指 導 法 B	102	2			
国 語 科 指 導 法 C	102	2			
社会科・地理歴史科指導法A	102	2			
社会科・地理歴史科指導法B	102	2			
社会科・公民科指導法A	102	2			
社会科・公民科指導法B	102	2			
理 科 指 導 法 A	102	4			
理 科 指 導 法 B	102	2			
理 科 指 導 法 C	102	2			
音 楽 科 指 導 法 A	102	4			
音 楽 科 指 導 法 B	102		2		
音 楽 科 指 導 法 C	102		2		
家 庭 科 指 導 法 A	102	4			
家 庭 科 指 導 法 B	102		2		
家 庭 科 指 導 法 C	102		2		
英 語 科 指 導 法 A	102	4			
英 語 科 指 導 法 B	102		2		
英 語 科 指 導 法 C	102		2		
書 道 科 指 導 法	102	4			
情 報 科 指 導 法	102	4			
福 祉 科 指 導 法	102	4			

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
教 職 入 門	101	2			
教 育 社 会 学	102		2		
発 達 と 学 習	101	2			
特別支援教育の理論と方法	102		2		
教 育 課 程 論	102			2	
道徳教育の理論と方法	102			2	
総合的な学習の時間の指導法	102		2		
特 別 活 動 の 指 導 法	102			2	
教育の方法及び 情報通信技術の活用	102		2		
生徒・進路指導と キャリア教育の理論と方法	102			2	
教 育 相 談	101	2			
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教職実践演習（中高）	103				2
教職実践演習（栄養教諭）	103				2

## 日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外で履修を希望する場合は、  
国際交流センターに問い合わせてください。

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本語科目	日本語 211	102	1
	日本語 212	102	1
	日本語 213	102	1
	日本語 214	102	1
	日本語 215	102	1
	日本語 221	102	1
	日本語 222	102	1
	日本語 223	102	1
	日本語 224	102	1
	日本語 225	102	1
	日本語 311	103	1
	日本語 312	103	1
	日本語 313	103	1
	日本語 314	103	1
	日本語 315	103	1
	日本語 321	103	1
	日本語 322	103	1
	日本語 323	103	1
	日本語 324	103	1
	日本語 325	103	1
日本語 411	103	1	
日本語 412	103	1	
日本語 421	103	1	
日本語 422	103	1	

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本事情に関する科目	日本事情 A	102	2
	日本事情 B	102	2
	日本事情 C	102	2
	日本事情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

# 1 カリキュラム・ツリー

カリキュラムツリー(科目編成とディプロマポリシーとの関連)

ディプロマポリシー	前期	1年次	後期	前期	2年次	後期
看護の質向上に寄与するため、科学的探究心を持ち、自律的・継続的に研鑽を重ねることができる。		<b>【金城コア科目】</b> キャリア開発A	女性みらい			
多職種と連携し、保健・医療・福祉チームの中で責任をもって役割を果たすことができる。						
看護の専門的知識・技術・態度を身につけ、科学的根拠に基づいた、安全・安楽な看護を実践することができる。					<b>【健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群】</b> <b>【成人看護学】</b> 成人看護学概論 慢性期看護援助論 急性期看護援助論 <b>【小児看護学】</b> 小児看護学概論 小児看護援助論(1) <b>【母性看護学】</b> 母性看護学概論 母性看護援助論(1) <b>【高齢者看護学】</b> 高齢者看護学概論 高齢者看護援助論(1) <b>【精神看護学】</b> 精神看護学概論 精神看護援助論(1)	
					<b>【看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群】</b> <b>【基礎看護学】</b> 看護学概論 基礎看護学実習(1) 基礎看護生活援助技術演習 看護コミュニケーション論 基礎看護学実習(2) 基礎看護生活援助技術演習 看護コミュニケーション論 基礎看護学実習(3) 基礎看護生活援助技術演習 看護コミュニケーション論 <b>【地域・在宅看護学】</b> 地域・在宅看護学概論 ヘルスアセスメント 医療リスクマネジメント論 基礎看護学実習(2) 地域・在宅看護援助論(1) <b>【公衆衛生看護学】</b> 公衆衛生看護活動展開論A 公衆衛生看護支援論A・B	
健康上の課題に対し自ら幅広く多様な情報を収集、分析することによって、必要な看護を判断し、課題解決に向けて対応することができる。		<b>【人間の身体のおくみと働き】</b> 解剖生理学A・B	解剖生理学C 生化学			
		<b>【金城展開科目】</b> 統計科学 情報リテラシー	<b>【健康障害と治療論】</b> 栄養学 病態生理学		カウンセリング 疾病・病態・治療論A～C 臨床心理学	疾病・病態・治療論D・E 薬理学
		<b>【導入科目】</b> 基礎ゼミナール	<b>【社会保障制度と社会環境】</b> 保健統計学		<b>【社会保障制度と社会環境】</b> 公衆衛生看護学概論	
					<b>【看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群】</b> <b>【基礎看護学】</b> 看護理論と看護実践への活用 看護過程論	
地域で生活する多様な人々の生活や文化的・社会的背景を理解し、それぞれの価値観を尊重しながら支援に当たることができる。		<b>【金城コア科目】</b> 英語コミュニケーションA(1)	英語コミュニケーションA(2)		<b>【看護英語コミュニケーション科目】</b> 看護英語コミュニケーション(1)	
		<b>【金城アイデンティティ科目】</b> 多文化共生社会	異文化コミュニケーション			
		<b>【社会保障制度と社会環境】</b> 家族社会学	健康科学概論		社会保障論	
			<b>【看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群】</b> <b>【地域・在宅看護学】</b> 地域包括ケア論 地域療養体験実習 <b>【基礎看護学】</b> 家族看護論 <b>【グローバルヘルス看護学】</b> グローバルヘルス看護学概論			
人間に対する畏敬の念と高い倫理観を持ち、他者をいたわり思いやる豊かな人間性を有している。		<b>【金城アイデンティティ科目】</b> キリスト教学(1)	キリスト教学(2)			
		<b>【金城展開科目】</b> ※S&E A～F			※S&E G	※S&E 講義
		<b>【導入科目】</b> 生命倫理	<b>【看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群】</b> <b>【基礎看護学】</b> 看護倫理			

※スポーツ・アンド・エクササイズはS&Eと表記。

※時間割の都合上、開講期が変更になることがあります。

3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期
【看護の統合と探究】 看護研究方法と看護実践への活用		統合実習 原著講読 卒業研究	卒業研究
【看護の統合と探究】 災害看護論		感染症と社会 看護管理学 チーム医療論	看護政策
		【公衆衛生看護学】 公衆衛生看護管理論A 公衆衛生看護活動展開論B	公衆衛生看護管理論B 公衆衛生看護活動展開論C
成人看護援助論	慢性期看護学実習 急性期看護学実習		
小児看護援助論(2)	小児看護学実習		
母性看護援助論(2)	母性看護学実習		
高齢者看護援助論(2)	高齢者看護学実習		
精神看護援助論(2)	精神看護学実習		
地域・在宅看護援助論(2)	地域・在宅看護学実習		
公衆衛生看護支援論C・D			公衆衛生看護学実習(1) 公衆衛生看護学実習(2)
疫学			
看護英語コミュニケーション(2)		看護英語コミュニケーション(3)	
保健医療福祉行政論(1)		保健医療福祉行政論(2)	
グローバルヘルス看護援助論			

## 2 看護学科 課程表

科目名の★は必修、☆は選択必修

導入科目					
導入科目 必修2単位					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
基礎ゼミナール★	81-I-a001	1			
生命倫理★	81-I-a101	1			

看護英語コミュニケーション科目					
看護英語コミュニケーション科目 必修2単位					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
看護英語コミュニケーション(1)★	81-II-b001		1		
看護英語コミュニケーション(2)★	81-II-b002			1	
看護英語コミュニケーション(3)☆	81-II-b003				1

専門基礎科目					
専門基礎科目 必修26単位					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
人間の身体 のしくみと働き	解剖生理学A(人体の構造)★	81-III-c001	1		
	解剖生理学B(人体の機能)★	81-III-c002	1		
	解剖生理学C(生殖・発達・加齢)★	81-III-c003	1		
生化学★	81-III-c101	2			
健康障害と治療論	病態生理学★	81-III-d001	1		
	薬理学★	81-III-d101		2	
	栄養学★	81-III-d201	1		
	疾病・病態・治療論A(循環器・呼吸器・消化器)★	81-III-d002		1	
	疾病・病態・治療論B(内分泌・腎・生殖器)★	81-III-d003		1	
	疾病・病態・治療論C(血液・免疫・感染)★	81-III-d004		1	
	疾病・病態・治療論D(精神・小児)★	81-III-d005		1	
	疾病・病態・治療論E(運動器・神経・検査)★	81-III-d006		1	
	臨床心理学★	81-III-d301		1	
	カウンセリング★	81-III-d302		1	
社会保障制度と社会環境	健康科学概論★	81-III-e002	1		
	公衆衛生看護学概論★	81-III-e004		2	
	社会保障論★	81-III-e005		1	
	疫学★	81-III-e006			2
	保健統計学★	81-III-e003	2		
	保健医療福祉行政論(1)★	81-III-e007			2
	保健医療福祉行政論(2)☆	81-III-e008			1
家族社会学☆	81-III-e001	1			

専門科目						
専門科目 必修75単位						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
①基礎看護学 看護の対象となる人々・地域への看護実践の基礎となる科目群	看護学概論★	81-N A-f001	2			
	看護理論と看護実践への活用★	81-N A-f002	1			
	看護過程論★	81-N A-f010	1			
	家族看護論★	81-N A-f006	1			
	看護倫理★	81-N A-f007	1			
	医療リスクマネジメント論★	81-N A-f011	1			
	基礎看護生活援助技術演習★	81-N A-f003	2			
	基礎看護診療援助技術演習★	81-N A-f008	2			
	看護コミュニケーション論★	81-N A-f004	1			
	ヘルスアセスメント★	81-N A-f009	2			
	基礎看護学実習(1)★	81-N A-f005	1			
	基礎看護学実習(2)★	81-N A-f012	2			
	②地域・在宅看護学 地域・在宅看護実践の基礎となる科目群	地域・在宅看護学概論★	81-N A-g001	2		
		地域包括ケア論★	81-N A-g002	1		
		地域・在宅看護援助論(1)★	81-N A-g004	2		
		地域・在宅看護援助論(2)★	81-N A-g005		1	
		地域・在宅看護学実習★	81-N A-g006		2	
		地域療養体験実習★	81-N A-g003	1		
③グローバルヘルス看護学	グローバルヘルス看護学概論★	81-N A-h001	2			
	グローバルヘルス看護援助論★	81-N A-h002		1		

専門科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
④成人看護学	成人看護学概論★	81-N B-i001	2		
	急性期看護援助論★	81-N B-i002	2		
	慢性期看護援助論★	81-N B-i003	2		
	成人看護援助論★	81-N B-i004		1	
	急性期看護学実習★	81-N B-i005		3	
	慢性期看護学実習★	81-N B-i006		3	
⑤小児看護学 健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群	小児看護学概論★	81-N B-j001	2		
	小児看護援助論(1)★	81-N B-j002	1		
	小児看護援助論(2)★	81-N B-j003		1	
	小児看護学実習★	81-N B-j004		2	
⑥母性看護学	母性看護学概論★	81-N B-k001	2		
	母性看護援助論(1)★	81-N B-k002	1		
	母性看護援助論(2)★	81-N B-k003		1	
	母性看護学実習★	81-N B-k004		2	
⑦高齢者看護学	高齢者看護学概論★	81-N B-l001	2		
	高齢者看護援助論(1)★	81-N B-l002	1		
	高齢者看護援助論(2)★	81-N B-l003		1	
	高齢者看護学実習★	81-N B-l004		3	
⑧精神看護学	精神看護学概論★	81-N B-m001	2		
	精神看護援助論(1)★	81-N B-m002	1		
	精神看護援助論(2)★	81-N B-m003		1	
	精神看護学実習★	81-N B-m004		2	



専門科目					
専門科目 必修75単位					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
⑨看護の統合と探究	災害看護論 ★	81-M-n001			1
	感染症と社会 ☆	81-M-n002			1
	看護政策 ☆	81-M-n104			1
	看護管理学 ★	81-M-n101			1
	チーム医療論 ★	81-M-n102			1
	統合実習 ★	81-M-n103			2
	看護研究方法と看護実践への活用 ★	81-M-n201			1
	原著講読 ☆	81-M-n202			1
	卒業研究 ★	81-M-n203			2

保健師課程科目					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
公衆衛生看護学	公衆衛生看護支援論 A (母子・成人・高齢者保健)	81-V-o001		2	
	公衆衛生看護支援論 B (精神・障害者・難病・感染症)	81-V-o002		2	
	公衆衛生看護支援論 C (学校保健・産業保健)	81-V-o004			1
	公衆衛生看護支援論 D (地域診断・健康教育・地区組織活動)	81-V-o005			2
	公衆衛生看護活動展開論 A (個人・家族・集団への保健指導)	81-V-o003		1	
	公衆衛生看護活動展開論 B (地域診断・健康教育の展開)	81-V-o006			2
	公衆衛生看護活動展開論 C (公衆衛生看護活動の統合と展開)	81-V-o008			1
	公衆衛生看護管理論 A (看護管理活動・健康危機管理)	81-V-o007			1
	公衆衛生看護管理論 B (保健師活動の実践)	81-V-o011			1
	公衆衛生看護学実習(1)	81-V-o009			3
	公衆衛生看護学実習(2)	81-V-o010			2

その他 卒業要件
すべての☆から3単位選択必修

# 1 看護職の資格とその役割について

## 〔1〕看護職とその資格について

看護職とは、その身分や業務が保健師助産師看護師法において定められている国家資格です。看護職には、保健師、助産師、看護師、准看護師の4種類があり、国家試験（准看護師の場合は都道府県知事試験）に合格する必要があります。

## 〔2〕看護職の役割について

公益社団法人日本看護協会（日本最大の看護職能団体）が制定した「看護職の倫理綱領」（2021年3月）の前文では、その役割や目的が次のように示されています。

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

（日本看護協会「看護職の倫理綱領」前文より一部抜粋）

# 2 看護師について

## 〔1〕看護師とは

保健師助産師看護師法において、「厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう」と規定されています。

病院だけではなく、在宅医療や福祉施設など様々な場所で生活する看護の対象となる人々に、心理面も含めた援助を行うのが主な仕事です。医療チームの一員として、専門的知識・技術に基づいてケアや診療の補助をします。

## 〔2〕資格取得のための履修方法

本学の卒業要件を満たして卒業（卒業見込みを含む）することにより、国家試験受験資格を得ることができます。

<学部 p.4「卒業要件単位数（詳細）」参照>

## 〔3〕国家試験について

国家試験受験のための出願および受験には、条件があります。詳細は、在学中の国家試験関連オリエンテーションの機会に適宜説明します。国家試験は、毎年2月に1日の日程で実施されます。詳細については、K-PORT等でお知らせします。

# 3 保健師について

## 〔1〕保健師とは

保健師助産師看護師法において、「厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう」と規定されています。

保健所・保健センターなどの公的機関で乳幼児健診・母親学級、生活習慣病予防対策や各種検診を行うなど、地域住民の健康づくりに関することが主な仕事です。また、高齢者などの自宅療養者の家庭訪問や介護予防の取り組み、企業に勤め、働く人たちの健康相談や健診結果に基づいた保健指導・環境調整も行います。

## 〔2〕資格取得のための履修方法

本学の卒業要件に加え、定められた科目（下表参照）をすべて修得して卒業（卒業見込みを含む）することにより、保健師国家試験受験資格を得ることができます。

\* 授業科目名のうち、**太字**の科目は卒業要件上の必修科目です。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目区分等		単位数	授業科目名	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	<b>公衆衛生看護学概論</b>		2		
	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護支援論A			2		
		公衆衛生看護支援論B			2		
		公衆衛生看護支援論C				1	
		公衆衛生看護活動展開論C					1
	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護支援論D				2	
		公衆衛生看護活動展開論A			1		
		公衆衛生看護活動展開論B					2
	公衆衛生看護管理論	<b>災害看護論</b>				1	
		公衆衛生看護管理論A					1
公衆衛生看護管理論B						1	
疫学		2	<b>疫学</b>			2	
保健統計学		2	<b>保健統計学</b>	2			
保健医療福祉行政論		3	<b>保健医療福祉行政論(1)</b>			2	
			保健医療福祉行政論(2)				1
臨地実習	看護学実習	2	個人・家族・集団・組織の支援実習				2
	公衆衛生看護学実習		公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習	3	公衆衛生看護学実習(1)		
合計		28					28

## 〔3〕保健師課程科目履修者の選抜について

審査・選考は、2年次前期終了後から2年次後期開始までに行い、15名程度の選抜を行います。

選考方法については、入学年度並びに2年次のオリエンテーションにおいて、保健師国家試験受験資格取得方法および、履修方法と共に説明します。

## 〔4〕国家試験について

国家試験受験のための出願および受験には、条件があります。詳細は、在学中の国家試験関連オリエンテーションの機会に適宜説明します。国家試験は、毎年2月に1日の日程で実施されます。詳細については、K-PORT等でお知らせします。

## 〔5〕課程履修費等について

保健師の課程を履修するには、学納金とは別に課程履修費等が必要です。詳細は入学年度並びに2年次のオリエンテーションにおいて説明します。

## 4 第一種 衛生管理者について

### 〔1〕 衛生管理者とは

労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置を主な職務とします。

第一種衛生管理者はすべての業種において衛生管理を行うことができます。第二種衛生管理者は有害業務と関連の少ない業種に限られています。

### 〔2〕 資格取得のための履修方法

本学の卒業要件に加え、保健師課程科目（前頁の表参照）をすべて修得して卒業し、保健師免許取得後に、各自で申請することで第一種衛生管理者免許を取得することができます。

## 5 養護教諭 二種について

### 〔1〕 養護教諭とは

学校教育法において、「児童の養護をつかさどる」と規定されています。学校におけるすべての教育活動を通して、学校保健情報の把握、保健指導・保健学習、健康相談、健康診断、救急処置及び救急体制に関することなど、児童生徒の健康を保持増進するための全ての活動をその職務とする教育職員です。

### 〔2〕 資格取得のための履修方法

本学の卒業要件に加え、保健師課程科目（前頁の表参照）及び、定められた科目（下表参照）をすべて修得して卒業し、保健師免許取得後に、各自で申請することで、養護教諭二種免許を取得することができます。

#### 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

\* 授業科目名のうち、**太字**の科目は卒業要件上の必修科目です。

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
体育	2	<b>スポーツ・アンド・エクササイズ講義</b>		1			これら 7科目より 1科目 選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
外国語コミュニケーション	2	<b>英語コミュニケーションA(1)</b>	1				必修
		<b>英語コミュニケーションA(2)</b>	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<b>情報リテラシー</b>	2				必修



**UNIVERSITY  
ACCREDITED  
2022.4～2029.3**

本学は、2014年度に実施された公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、大学基準に適合しているとの認定を受けました。このマークは、それを証するものです。

公益財団法人大学基準協会とは：

1947年に、「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学教育の国際的協力に貢献することを目的とする。」として創設された、国・公・私立の大学を会員校とする団体で、2015年度現在正会員として352校が加盟しています。

## 履 修 要 覧

2023年度

2023年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター  
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地  
TEL (052) 798-0180  
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>